かしこく　やさしく　たくましく

国際感覚を身に付け、確かな学力と人間性を備えた児童生徒の育成

めざせ！南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学 校 便 り

令和７年２月号

ヨハネスブルグ日本人学校

エルムパーク・リタイアメント・ビレッジの方々との交流を終えました。

今年度の国際交流（6回）が全て終了しました。

令和7年が始まり、早くも2月を迎えました。先日、1月31日に、「エルムパーク・リタイアメント・ビレッジ」の方々との交流を行いました。今年度、年間6回の国際交流を振り返ると、第1回「ワンダーランド幼稚園」、第2回「オルランド子どもの家」、第3回「JICA 隊員の方との交流」、第4回グリーンサイド・プライマリースクール」、第5回「ラッドフォード・ハウススクール」、第6回「エルムパーク・リタイアメント・ビレッジ」となります。

幼稚園児との交流から始まり、長い交流を続けている孤児院や公立や私立の小中学生との交流の最後は、高齢者の方々との交流です。在外教育施設で、現地のお年寄りとの国際交流の機会をもっていることは大変貴重で珍しいことです。

現地の老後施設と英語による国際交流を行うことは、子どもたちにとっても高齢者にとっても大きな意義と価値があることを改めて実感しました。子どもたちは、いつもの教室を離れた場所で英語を使うことで、今まで学んできた語学力を自然に伸ばす機会を得ました。折り紙や手遊びの説明に苦戦しながらもあきらめずに取り組んでいました。また、異文化や世代の異なる人々との交流を通じて、相手を理解し、共感する力が育まれ、多様性を尊重する姿勢が身につくと感じました。実際に、事後の感想には、大変さと同時に達成感が得られた子供たち多かったことが見て取れます。

また、高齢者の方々にとっても若い世代との交流は新たな刺激となった様子がありました。満面の笑顔でお礼を言われた子供たちは、笑顔のお返しで、全員がニッコリ笑顔でした。生活に活気や喜びをもたらします。英語での説明の挑戦や日本の文化を伝えることを通じて、子供たちは、自己肯定感が高まり、社会とのつながりを実感するきっかけとなったと考えます子どもたちと高齢者が互いに学び合い、多世代交流が生む相乗効果は、単なる英語を使う実践にとどまらず、心の成長や豊かな人間関係を築く力を養えたと実感しました。

たくさんの方々に、「来年度もまた来てね！」と言われた子供たちの嬉しそうな笑顔や握手を思い描き、来年度の国際交流計画が既に始まっています。

最終ページに、子供たちの振り返りを掲載いたします。

卒業シーズンが、目の前となりました！　今年も原稿依頼が。

この時期になると、かつて在籍していた学校から、「卒業アルバム」に掲載する原稿依頼が続々と届きます。私自身は、最後に所属していた学校を退職してから、既に数年が経ち、今では、少し寂しさを感じるものの１校からの依頼のみとなりました。原稿は、日本で学ぶ子供たちにあてたものですが、思いは、目の前の子供たちに対しても、変わらないものがあります。

校長室前の掲示板にはり、子供たちにも読んでほしいと思います。僭越ですが、ご一読頂けましたら、幸いです。

広い世界に羽ばたくみなさんへ

元校長　渡島　郁弘

卒業おめでとうございます。みなさんは、今日、新しい一歩を踏み出します。この小学校で学んだこと、友だちと過ごした日々、先生方とともに積み重ねた経験は、これからの人生の大きな財産となるでしょう。

みなさんの未来は無限の可能性に満ちています。そして、その未来をより広い視野で見つめることができる人こそ、これからの世界で大きく成長できる人です。世界にはさまざまな国があり、それぞれの文化や習慣、言葉、考え方があります。人の数だけ異なる価値観があり、その違いこそが世界を豊かにしているのです。

みなさんがこれから生きていく社会は、ますます国境を越えたつながりが深まっていきます。異なる国や文化の人々と協力しながら、よりよい未来を築くことが求められます。そのために大切なのは、「違いを認め、学び合う心」です。自分と異なる考えをもつ人に出会ったとき、それを否定するのではなく、「なぜそう考えるのか」と興味をもち、理解しようとすることが大切です。

国際的な視野をもつことは、ただ外国のことを知るだけではありません。それは、世界のさまざまな出来事に関心をもち、自分がその一員であることを意識することです。みなさんがこれからどこで生活し、どんな仕事をすることになっても、世界の人々とともに生きていることを忘れないでください。

また、みなさん自身が世界に誇れる存在であることも忘れないでください。自分の国や文化を大切にしながら、他の文化を尊重することができる人は、どこへ行っても信頼され、愛されるでしょう。そして、そのような姿勢こそが、世界をより平和で豊かなものにしていく力となるのです。

これから先、みなさんの前にはさまざまな挑戦が待っています。困難に直面することもあるでしょう。しかし、どんな時も学ぶことを忘れず、好奇心をもち続けてください。世界は広く、みなさんの活躍を待っています。

卒業は終わりではなく、新たな始まりです。これからも自信をもって歩んでいってください。そして、世界のどこかでみなさんが輝く日を楽しみにしています。

心からの祝福を込めて。

（ヨハネスブルグより寄稿）

6. 振り返り

	あまりできなかった			よくできた
一生懸命英語で話せましたか。	1	2	3	4
日本の文化を伝えられましたか。	1	2	3	4
高齢者の方に自分から関われましたか。	1	2	3	4
相手の立場で考えて行動しましたか。	1	2	3	4

気付いたこと・感じたことをまとめよう

私は、折り紙を高齢者の方に教えに行ったとき、高齢者の方4人全員が折りおわるまで教えてあげたり高齢者の方がわからなそうにしていたときに自分が折っているのを見せたりしてしっかりと高齢者の方と交流できたと思います。最初は「そんなに英語を使わなくても伝わるかな～」ぐらいに考えていたけれど結構英語を使ってコミュニケーションをとっていたので、次の交流の時もたくさん英語を使ってコミュニケーションをとりたい。代表の言葉を(紙を見てだけど)スラスラいえてよかったです。

6. 振り返り

	あまりできなかった			よくできた
一生懸命英語で話せましたか。	1	2	3	4
日本の文化を伝えられましたか。	1	2	3	4
高齢者の方に自分から関われましたか。	1	2	3	4
相手の立場で考えて行動しましたか。	1	2	3	4

気付いたこと・感じたことをまとめよう

がんばったことはれいこです。なぜかというとわたしときみこちゃんと手あそびのせつめいをしたからです。気づいたことはいっぱいおじいさんおばあさんがいるとわかりました。がんばったことは、おじいさんおばさんはいしょにすんでいるとわかったことのしかったですらしいねんくのがたのしみです。

6. 振り返り

	あまりできなかった			よくできた
一生懸命英語で話せましたか。	1	2	3	4
日本の文化を伝えられましたか。	1	2	3	4
高齢者の方に自分から関われましたか。	1	2	3	4
相手の立場で考えて行動しましたか。	1	2	3	4

気付いたこと・感じたことをまとめよう

わたしははじめてエルムパークに行って、高れい者の方がたといっしょに楽しく交流することができました。とくにおり紙や手遊びなどは教えるのが少しむずかしかったです。わたしも交流したおばあちゃんは耳があまり聞こえていなかったようなので次からは大きな声ではきはき、分かりやすく話せるようにがんばりたいです。

6. 振り返り

	あまりできなかった			よくできた
一生懸命英語で話せましたか。	1	2	3	4
日本の文化を伝えられましたか。	1	2	3	4
高齢者の方に自分から関われましたか。	1	2	3	4
相手の立場で考えて行動しましたか。	1	2	3	4

気付いたこと・感じたことをまとめよう

折り紙が出来ない人に教えたりするのが難しかった。折り紙を折ったら次の人に変わってほしいと思ない人とは話せたけど最後まで人を変えなくても良かったかもしれないと思った。でも日本語を教えられたり折り紙や手遊びをする中で学校の話などもできたので良かった。最後の手遊びが1つもできなかったけど1つをゆっくりとしっかりできたから良かった。

出来なかった事があったりもしたけど最終的にはエルムパークの人と会えたという実感が多かった

1年間の国際交流を振り返ってみよう

Q1　国際交流は、どこで、だれと交流しましたか？
※途中からJSJに来た人は、分かる所だけ書こう。

第1回	ワンダーランドようちえん
第2回	オルランド子どもの家
第3回	JICA
第4回	グリーンサイド
第5回	ラドフォード
第6回	エルムパーク

Q2　一番心に残っているのは、第何回ですか？なぜですか？

一番心に残っているのは、第2回です。なぜなら、ペアの子といっしょに日本のでんとうてきなこまやけん玉やあやとりを楽しくできたからです。

ともだち、おすすめ、行かを伝えるのは、むずかしいけれど、伝わったときは、うれしいですね。

1年間の国際交流を振り返ってみよう

Q1　国際交流は、どこで、だれと交流しましたか？
※途中からJSJに来た人は、分かる所だけ書こう。

第1回	ワンダーランド
第2回	オルランド子どもの家
第3回	JICA
第4回	グリーンサイド
第5回	ラドフォード
第6回	エルムパーク

Q2　一番心に残っているのは、第何回ですか？なぜですか？

だいにかい　の　オルランド　子ども　の　いえ　です。なぜなら　ともだちかい、ぱいらえんから　です。

オルランドのともだちと、またらい年あうのがたのしみだね。

1年間の国際交流を振り返ってみよう

Q1　国際交流は、どこで、だれと交流しましたか？
※途中からJSJに来た人は、分かる所だけ書こう。

第1回	ワンダーランド幼稚園
第2回	オルランド子どもの家
第3回	JICA
第4回	グリーンサイド
第5回	ラドフォード
第6回	エルムパーク

Q2　一番心に残っているのは、第何回ですか？なぜですか？

一番心に残っているのは第4回です。なぜなら、初めて本格的に海外の授業に参加して、皆と仲良くすることもできたから。また、グループでアルバイトを過ごしたり一年生の授業を見たりして遊ぶという経験もできたから。

1年間の国際交流を振り返ってみよう

Q1　国際交流は、どこで、だれと交流しましたか？
※途中からJSJに来た人は、分かる所だけ書こう。

第1回	ワンダーランド
第2回	オルランド子供の家
第3回	Jica
第4回	グリーンサイド
第5回	ラドフォード
第6回	エルムパーク

Q2　一番心に残っているのは、第何回ですか？なぜですか？

第4回のグリーンサイド。理由は、一番同じ年の子と遊べたし、現地の子どもたちの生活が良く分かったから。